

組織強化と部落解放をめざす決議(案)

4月に行われた統一自治体選挙においては、我々の念願が叶い、平井としき府議会議員（京都市北区）の3期目の勝利を勝ち取ることができた。これもひとえに、我々の団結と共闘する仲間との連帯の賜物である。引き続き、7月の参議院選挙に向けて、我々の声を国会に届けるべく奮闘しよう。

部落解放同盟の基礎組織は支部である。高齢化が進行する地域の現状において、世話役活動や相談活動を通じ、住民の信頼を得る支部であるよう努めよう。ますます広がる格差は、特に母子家庭の子どもへの貧困などに顕著にあらわれている。一日に一食しか食べられない子ども、学校給食だけがたよりの子どもも現実に存在する。地域での子ども食堂の実践などに積極的に取り組もう。

支援を必要とする人びとに寄り添い、共感することで、支部の力量を高めていくことが重要だ。個人加盟＝個人登録の推進をはかるためにも、世帯主登録からの切り替えをすすめて、自主財源の確保に向けて取り組み、支部の組織づくり、強化をはかっていこう。

労働者、企業者、宗教者等々、各界各層の人々と連帯し、協働の取り組みを進めることも大切だ。「部落解放共闘会議」「人権啓発企業連絡会」「同和問題に取り組む宗教者連絡会」等々で構成される「部落解放・人権政策確立要求京都市実行委員会」を通じ、差別禁止法の制定や、人権委員会の設置など共通する目的に向かって取り組みを強化しよう。

今年も、リベレーションフェスタ2019などのイベントや、人権交流京都市研究集会などの研修を、市内11支部が一丸となって取り組むことで、市協の団結や力量を高めていこう。

「人間を尊敬する事によって自ら解放せんとする者の集団運動」を提起した水平社の精神に学び、来る水平社創立100年に向けて、真に人権が尊重される社会建設のため力をつくそう。一人ひとりの真摯な姿勢こそが、組織強化と部落解放の前進を勝ち取っていくことを確認し、ここに決議する。

2019年5月30日

2019年部落解放同盟京都市協議会定期総会